

十六総合研究所が総務省より受託した 「課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証」の 令和2年度成果が公表されました

当行グループのシンクタンクである十六総合研究所は、総務省の「課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証」事業の No. 11<観光分野>「観光客の滞在時間と場所の分散化の促進等に資する仕組みの実現」について、代表機関として参画・受託し、世界遺産・合掌造り集落を有する岐阜県白川村を対象地として、5G を活用した新たな観光体験 『次世代観光ガイドシステム』の開発と投入を行う実証実験を行ってまいりました。

■実証イメージ

5G を活用した新たな観光体験 『次世代観光ガイドシステム』

★観光客は『次世代観光ガイドシステム』搭載 5Gスマートフォンを持って周遊



■実証目標

持続可能な観光を目的として、ローカル 5G 無線通信システムを用いた観光客の位置情報にあわせた高精細なコンテンツ配信等による観光客の滞在時間・場所の分散化といった観光客の行動変容や消費の促進に資する仕組みを実現する。

■コンソーシアム

コンソーシアム：(株)十六総合研究所、(株)NTT ドコモ、白川村、
(一社)白川郷観光協会

実証地域：岐阜県大野郡白川村

周波数：4.5-4.6GHz 帯 (NSA 構成)

利用環境：屋外（観光地）

■実証結果

課題実証：観光客の位置情報に応じて、4K 動画等の高精細な観光映像コンテンツのライブ配信や PUSH 配信を行い、観光客の動きを混雑地から周辺地へ誘導することで、観光客の滞在時間を+15 分延長（リピーターに限れば+39 分延長）するとともに、観光客の集中する時間や場所の分散化による混雑の緩和を実現できることを確認しました。

なお、PUSH 配信については、80MB の動画を 5 台の端末に約 5 秒で同時に配信しました。

実証結果の詳細については、以下の URL をご覧ください。

- ・総務省報道資料：「課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証」に係る令和 2 年度成果及び令和 3 年度実施方針の公表

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000291.html

- ・実証成果

成果報告書：<https://go5g.go.jp/carrier/15g/>

動画：<https://go5g.go.jp/carrier/観光・eスポーツ/>